

令和2年度

第28回

# 浜松市民アカデミー



## 受講生募集のお知らせ

【総合テーマ】

「好奇心の、その先へ」

～未来へツナグ9講座～

(全9回)

浜松市

# 市民アカデミーへのお誘い

さまざまな情報が交錯する現代社会。それら情報を正しく読み解くことで、自分の生き方に新たな道しるべを発見することができる環境とも言えます。より賢く、よりスマートに生きていくために新たな知識・知恵を学んでみま

せんか。「浜松市民アカデミー」では、向学心旺盛なあなたを満足させる全9講座をご用意いたしました。県西部8大学9学部の先生方が、専門性を生かし、最新の情報と知識と知恵を分かりやすくお届けします。是非ご聴講ください。

## 【会場：浜松市地域情報センター ホール】



### ①【静岡大学情報学部 許山 秀樹 先生】

元号が新しくなり、生活の中に馴染んできました。改元後、元号の由来・出典について多くの識者がそれぞれの立場から話をしてきました。この浜松市民アカデミーでは、元号について、それぞれの文字の由来を文字研究の観点からご紹介します。漢字ばかりの堅苦しい回ですが、日本各地でなされた「令和」の説明とは一味異なるお話をしたいと考えています。



### ②【聖隷クリストファー大学 大原 重洋 先生】

聴覚は、ヒトの最も重要な感覚の一つです。この講義では、まず、ヒトが音を聞く仕組みを知り、年齢を重ねるごとに聞こえの能力が低下する理由を学びます。その上で、聴力低下に対して補聴器がどのように機能し、聞こえを改善しているのか科学的に理解します。受講生の皆さんは、最新の音響通信技術の粋を結集した補聴器の性能と効果にきっと驚かれることでしょう。もはや補聴器は、超小型の音響通信機器なのです。



### ③【静岡理科大学 太田 達見 先生】

「建物って何年持つの？」という質問をよく耳にしますが、「持つ」ということを皆さんはどのように捉えていますか。本講義では、建物の寿命を考えるうえで、改めて「持つ」とは何かについて、建物の機能／性能と絡めて掘り下げるとともに、建物の寿命を脅かす劣化因子と耐久性を保持するための基本的な考え方についてご紹介します。持続可能な社会の一翼を担う「建物」について、今一度考えるきっかけにして頂ければ幸いです。



### ④【静岡産業大学 丹羽 由一 先生】

皆さん「カイジ」ご存知ですか？サラリーマンに人気のギャンブル劇画です。実はいまこれがマネーやビジネスの世界で注目されています。人はお金がからむと本性を隠せません。どうしたら勝てるのか？ルールや確率論も大事ですが、相手の心理を突いた多くのワナも仕掛けられています。わかっても間違える—これはマネーやビジネスも同じです。さあ一緒に「カイジ」のストーリーに沿ってワナを暴いていきましょう。

回	講義日	講座内容	※会場 浜松市地域情報センター ホール
①	9/2 (水)	「元号に使われた漢字を原典と字源から探る —令和・平成・昭和—」 静岡大学 情報学部 教授 許山 秀樹 (のみやま ひでき) 先生	
②	9/9 (水)	「聞こえの仕組みと難聴の原因を理解し、 最新の音響通信機器としての補聴器の技術と効果を学ぶ」 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 教授 大原 重洋 (おおはら しげひろ) 先生	
③	9/16 (水)	「建物の寿命と耐久性 ～建物の機能／性能と劣化について考える～」 静岡理科大学 理工学部 教授 太田 達見 (おおた たつみ) 先生	
④	9/23 (水)	「劇画「カイジ」に学ぶ行動経済学」 静岡産業大学 経営学部 客員教授 丹羽 由一 (にわ よしかず) 先生	



⑤【浜松学院大学 大野木 龍太郎 先生】

1896年にアテネで始まった近代オリンピックも、2020年の東京大会で32回目を迎えるはずでした。4年に一度、平和な世界を実現するためにアスリートが集うオリンピックも、120年の年月を経て、その理念と現実のずれが大きくなっているように見えませんか。オリンピックは平和な社会の実現に本当に寄与できるのか。新型コロナウイルスとの共存という新たな課題も含め、探っていきましょう。



⑥【静岡大学工学部 杉田 篤史 先生】

この講座では「光の科学と技術」について紹介します。1秒間に地球を七周半もの距離を進む光の“高速性”を切り口に、身近なありふれた存在でありながら、意外とよくわからない光の正体について迫るとともに、身の回りのどんなところで光が使われているのか講義します。そして、人類がどのように光の正体を迫ってきたのか、その歴史についても紹介するとともに、静岡大学の研究室にて光の速度を測定した様子についても報告します。



⑦【静岡文化芸術大学 新妻 淳子 先生】

静岡県には素晴らしい伝統建築があります。その伝統建築の美とは？社寺建築と民家には同じ尺度では測れない美しさが秘められています。これらを造り上げるために受け継がれてきた技とは？建築に関わる工匠たちと道具・材料をつくる人々の連携から生まれています。伝統建築の背景には豊かな土地の風土と文化、人々の繋がりが見えてきます。本講座では、伝統建築の美と技から未来へ継承すべきその魅力についてお話しします。



⑧【常葉大学 関 真亮 先生】

新型コロナウイルスの出現により、新しい生活様式が必要になってきました。外出しての運動も制限があり、運動不足を感じている方もおられるでしょう。本講義では、ご自宅内でもできる東洋医学の健康法「導気令和、引体令柔」について学んでいただき、新しい時代における不安や不調を和らげる方法が実践できるようになることが目標です。



⑨【浜松医科大学 大谷 速人 先生】

超高齢化社会を迎えている日本では加齢とともに臓器が有する予備能は低下し、高齢が治療の1つのリスクとなっています。また、超高齢者でも少なからぬ余命が残されており、治療後のQOLも考慮した、高度な低侵襲治療が求められる時代に突入しています。心血管領域では、これまでの大きく体を切り開いて手術ではなく、血管を通るカテーテルを用いた方法で多くの治療が低侵襲で可能となっています。最新の心臓カテーテル治療を紹介します。

回	講義日	講座内容 ※会場 浜松市地域情報センター ホール
⑤	9/30 (水)	「オリンピックは、人々を幸せにし、平和な社会をつくる切り札になれるのか」 浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授 大野木 龍太郎（おおのぎ りゅうたろう）先生
⑥	10/7 (水)	「光の科学、光の技術」 静岡大学 工学部 教授 杉田 篤史（すぎた あつし）先生
⑦	10/14 (水)	「静岡県の伝統建築 一美と技一」 静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 新妻 淳子（にいづま じゅんこ）先生
⑧	10/21 (水)	「未来につなぎたい東洋医学の健康法 ～気令和とは？～」 常葉大学 健康プロデュース学部 准教授 関 真亮（せき まさあき）先生
⑨	10/28 (水)	「心血管の低侵襲治療：最新の心臓カテーテル治療」 浜松医科大学 医学部附属病院 第三内科 特任講師 大谷 速人（おおたに はやと）先生

# 募集要項

- 日 時 日 程：令和2年9月2日・9日・16日・23日・30日  
令和2年10月7日・14日・21日・28日（全て水曜日）  
時 間：午後7時～午後8時30分
- 会 場 浜松市地域情報センター ホール（中区中央一丁目12番7号）  
※施設には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。
- 募集人員 40名（抽選）
- 応募資格 18歳以上の方（高校生を除く）  
※浜松市周辺在住の方も申し込み可
- 受講料 1,000円（全9回分）  
※初回の参加時に徴収いたします
- 応募期間 **令和2年8月17日(月)～8月28日(金) 正午**
- 応募方法 ア) 下記E-mail アドレスまたは、浜松市HP〔検索 市民アカデミー〕より、①住所、  
②氏名（ふりがな）、③年齢、④電話番号、⑤過去の受講回数 を入力しメール送信して  
下さい。（応募期間最終日正午までの送信有効）  
イ) 下記電話番号に電話し、①～⑤をお伝えください。（平日午前8時30分～午後5時15分）
- 結果連絡 **令和2年8月31日(月)**  
上記アの方法で応募された方はメールでご連絡、イの方法で応募された方はお電話でご連絡  
します。
- 問合せ先 〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2  
浜松市中区役所 まちづくり推進課 市民アカデミー係 Tel.(053)457-2779  
E-mail : [c-machi@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:c-machi@city.hamamatsu.shizuoka.jp)
- そ の 他 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により、一部内容を変更する場合がございます。また  
開催途中で中止となった際は、受講料のご返金を致しかねますことをあらかじめご了承ください。  
その場合、ご希望の方には中止となった講義の資料をお渡しいたします。  
講義中はマスクの着用にご協力ください。
- 共 催 静岡大学 工学部/情報学部 浜松医科大学 浜松学院大学 静岡文化芸術大学  
聖隷クリストファー大学 常葉大学 静岡産業大学 静岡理工科大学（順不同）



## 【会場】浜松市地域情報センター ホール（中区中央一丁目12番7号）

